

# 頌春



新年おめでとうございます  
 昨年は新しい政治が国民の力で開かれた年  
 東京では都民の皆さんの運動と力を合わせやっこと少人数学級の扉が開き始めました  
 今年はさらに政治を前に進める年にしていきましょう

二〇一〇年一月  
 大山とも子

## 運動と論戦が力を合わせて 少人数学級実現の扉を開く

第4回  
 定例会

日本共産党などの質問に答え、教育長が、来年4月から小中学校の1年生の教員の配置を増やして「学級規模の縮小も可能とする」などの対応策の実施を表明しました。

石原都政は東京以外すべての道府県で実施している少人数学級にかたくなに背を向けてきました。日本共産党は都民の皆さんの運動と一緒に、1992年以来一貫して30人学級をはじめ少人数学級の実現を求める論戦を続けてきました。

2009年第1回定例会では、予算特別委員会で大山都議が、前年度

より133億円も教育庁の予算を減らすことを指摘し、そのまま予算を維持するだけで小学校1、2年生の30人学級は実施できると迫ると、知事は答弁不能になりました。5月には都教委が「都民の要望を重く受け止める」と答弁、9月の本会議では教育長が「学級編成のあり方について適切に判断していく」と答弁するところまでできていました。

日本共産党は、来年度の実施を足かぎりに、さらに30人学級をはじめとする少人数学級が全面的に実施されるよう全力を尽くします。



11月24日、ハローワーク前で聞き取りする大山都議

**雇用と暮らしを守る**  
 ハローワーク前で聞き取り調査なども含め、雇用をめぐる深刻な事態を告発し、失業者に対し住宅生活・雇用とつづつ保障を行うべきことを提案し、都にその実現を迫りました。  
 年末年始の失業者の宿泊先の確保について、相談場所を兼ねた大規模宿泊施設の提供を国に要望していると答えたことは重要です。



日本共産党東京都議団二ノトス  
**大山とも子**だより  
 都民が主人公の東京へ

1月10日  
 285

発行

控室 日本共産党東京都議会議員団  
 電話 (03)3207270  
 FAX (03)3207190

連絡先

大山とも子事務所  
 新宿区住吉町11-25  
 電話 (03)33557118  
 FAX (03)33553491

都政に関するご意見・ご要望をお寄せください！



日本共産党都議団は新宿駅東口で労働相談を行いました。(2月4日)



5月16日、大山とも子事務所主催の「都営住宅空き家空き地ツアー」を行いました。写真は戸山団地の空き地について説明する大山都議



「都政いじめの都政を変えよう！」 6・19怒りのちようちんデモに参加しました。写真はあいさつする大山都議(6月19日)

2010年

くらし、福祉、営業を守り、豊かな教育を実現するために全力でがんばります！



10月13日に都民によびかけて、若松地域センターで都政報告会を行いました。



日本共産党都議団は、新型インフルエンザから都民の命と健康を守るための体制強化について石原知事あてに申し入れました(8月25日)



「戸山公園に公衆トイレを増やして」 戸山ハイツの住民のみなさんと東京都建設局に要請しました。写真は住民みなさんやあべ区議、担当課長とともに調査する大山都議(6月30日)

## 切実な都民要望実現へ 政府へ来年度予算要望を提出

12月24日、大串博志財務大臣政務官に、政府予算編成に関する要望書を提出しました。

後期高齢者医療制度をすみやかに廃止することや、子ども手当の財源は、扶養控除などの廃止縮小に求めないことなど、99項目について、要望しました。



11月30日、都立3小児病院を存続を求めての座り込みを行なう都民のみなさんに激励の挨拶をする大山都議

# 都議会 第4回定例会

## 都民の運動とともに都立小児病院存続を迫る

2009年第4回定例会が12月1日から16日まで開かれました。都立清瀬・八王子小児病院、梅ヶ丘病院の存続問題が大きな焦点になりました。厚生委員会や本会議での質疑を通じて、民主党が存続条例の提案をしない理由にした都の回答がいかに不十分で、3小児病院の存続の必要性がますます明らかになりました。

12月16日、討論に  
立つ大山とも子都議



小児救急の受け入れ先がなくなる。清瀬小児病院は、年間1万2千人の時間外救急を受け入れていきます。これは、この地域4市の救急患者の7割にもぼります。清瀬小児病院の代替とする多摩北部医療センターはすでに5千6百人を受け入れており、どうしてもその3倍も受け入れることができるでしょうか。救急をもう一系列増やすと言っています。それができたとしてもせいぜい5千人程度で、そのためには医師の確保が必要ですが、努力するとは言えません。これでは清瀬小児病院の代替にはなりえないとただすと、都はまともに答えられませんか。

八王子小児病院は、時間外救急患者を年間6千3百人受けています。代替として受けているのは二つの大学病院ですが、救急は一日交替での受け入れで、今でもいつも混雑しているのです。都は民間病院での新たな小児科の開設を持ち出したものの、具体的な内容も全く示せませんでした。

NICUは北多摩北部医療圏と八王子市からゼロになる。新生児のICUであるNICUは、清瀬と八王子小児病院を廃止すると、北多摩北部医療圏と八王子市内の病床がゼロになります。国の新しい整備基準を受け、都は出生1万人当たり30床を整備すると表明しましたが、区部では出生1万人当たり25床整備されていますが、多摩地域は今でも出生1万人当たり12床しか整備されていません。目標を実現するためにはあと60床増やすことが必要なのに、逆に新たな空白を都自身がつくるのです。清瀬・八王子小児病院の15床を減らしてどうして実現できるのかをただしましたが、都は説明不能でした。

梅ヶ丘病院は日本にただ2か所しかない小児精神科専門病院。梅ヶ丘病院の廃止統合先の新設される小児総合医療センター（府中）は、小児精神科病院の最低限の条件とされた、独立した建物でさえないことが明らかにされました。現在の梅ヶ丘病院は、小児精神科の専門病院としてゆったりと子どもたちを受け入れることができる病院です。梅ヶ丘病院の患者にとって、廃止統合は療養環境の大後退でしかありません。

3小児病院を存続させ、小児総合医療センターは段階的に開設こそ現実的。広大な多摩の地域に1か所巨大な病院をつくって、地域医療を放り投げることは許されません。日本共産党は3小児病院をそのまま存続させても、都の計画では小児総合医療センターに医師50名、看護師100名

程度は配置できることを示し、同センターは段階的に開設することこそ、地域医療を守り、高度医療もさらに充実するもつとも現実的な道であることを明らかにしました。これにも、都はフルオープンを前提とした答弁を繰り返すのみです。すでに患者や家族に大きな混乱がすでに行われ、患者の行き場がなくなるなど、大きな混乱が起きています。梅ヶ丘病院では8病棟を5病棟にしたため、転院させられた患者は、1日9千円もかかる病院に3カ月しか入院させてもらえず、動けないように縛られてしまったことが報告されています。



12月8日、都立3小児病院を存続させよう！などの要求を掲げてパレードするみなさんに連帯のおいさつをする日本共産党都議団

子どもの命を守る「議会」に。3小児病院を廃止しようとする都の暴挙によって、子どもたちや家族が翻弄され、大きな混乱と治療の停滞、成長・発達への障害さえ、もたらされているのです。大山都議は最終日の討論に立ち、「すでに起きているこうした深刻な事態を知事と都議会各会派は正面から受け止めるべきです。すべての会派に呼びかけます。子どもたちの命を守るため、都議会の責務を果たそうではありませんか」と訴えました。

問われる各会派の対応。自民党、公明党は、「いまだに反対を唱える一部の会派もあり」（自民）と述べるなど、3小児病院廃止推進の立場を改めて示しました。一方、都議選で都立病院などの存続を公約した民主党が、同党の要請に対する都の回答を理由に廃止容認に態度を変えたことは、都民への背信行為と言わざるを得ません。同時に生活者ネット・みらいが最終日の討論で、「多くの不安が解決するまでは廃止は凍結すべき」と表明したことは重要です。

存続を公約した会派がきちんと公約を守れば、存続は可能な都議会になっています。引き続き、運動と力を合わせ、存続のために全力を尽くします。

### オリンピックの再立候補撤回し 4000億円は都民の暮らしに

石原知事が2020年のオリンピックに再立候補を表明したことに都民の批判は広がっています。日本共産党都議団が新宿駅西口でシール投票をしたところ、2時間で2513人が次々にシール投票に参加し、再立候補に反対が62%で、賛成の37%を大きく上回りました。

知事は本会議で、招致経費150億円は「痛くもかゆくもない」という発言を追及され、「都民サービスに影響しない」などと答弁しました。大山都議は討論で、「とんでもないごまかしで、東京都自身、高齢者福祉など都民サービスを900億円も削ったと述べてきたではありませんか。」ときびしく批判しました。盛り上がらない招致機運を盛り上げようと、オリンピックムーブメントに招致関係費用の7割を注ぎ込んだのです。

### 4000億円は都民の暮らしに

特別養護老人ホーム1万人分の増設は4000億円の基金の13%でできます。待機児解消のために認可保育園1万5千人分も13%、都営住宅7000戸分で22%それぞれ取り崩せば集中的に整備することができます。しかも、これらの整備で雇用約百万人分を創出することができます。保育園なら子どもを預けた保護者も働くことができますから、一石二鳥にも三鳥にも四鳥にもなります。



12月4日に新宿駅西口で、都議団が行なった街頭シール投票のようす